

やれることをやり尽くした…のその先へ向かうにはどうしたらよいのでしょうか。もちろん、人材や時間があまりある状態であれば、十分に思っていることを実現できるかもしれません。限りあるリソースの中でできることは…？「ウェルビーイング」に直結する「働きがい」について今回の記事で考えてみませんか？

福井市 社北小学校

「働き方改革」から「働きがい改革」へ

●「〇〇がない！」

・どこにでもある児童間のトラブル、別室登校の対応。宿題の点検やドリル等の丸つけ、保護者への電話連絡や対応で、手空きや放課後の時間が「溶けていく」

・授業改善を図りたいが、「やらされ感」や「負担感」があったり、教室を空けられなかったりして授業を見合うことが難しい。

●頭打ちになってしまった「働き方改革」

やれることはやり尽くした…
例)会議の見直し(ペーパーレス・スリム化)
行事の精選・効率化、校時の見直しで時間を削り出した。

→削り出した時間は、有効に使えているか？
やりがいのある仕事につながっているのか？

見つけ直し！

子どもの学び、教師の学びとは？ 働き方改革、教師の本務とは？

●「観」の転換を図る

・学習観
子どもも教師も自主的で自律的な学びへ！

・教師の仕事観
教員の本務は「子どもたちと向き合い、よい授業をし、学びを共有する」こと。今やっている仕事が明日の子どもの学びにつながるように！

・研修観
学び続ける教員としての義務と権利。「思考停止」「受動的」な研修から、「探究的」で「対話」を取り入れた研修へ

●一旦疑ってみるフィルター●

「本当に必要？」「どこまでやるの？」

手すき・放課後の時間の使い方見直し・改善
「しなければ！」「させなければ！」のバイアス外し

＼やっぱり必要！／

どうせやるなら前向きに！
モチベーションは「やりたい！」だけでなく、「やるべき！」「やれる！」も大切

＼ウェルビーイングも向上！／
「働きがい改革へ」～学び合い支え合う組織づくりを通して～

●幸せを感じる研修会(語ろっさ！)

☆研修の意図や意義の理解
→なぜ必要なのか？
それはどのような学びなのか

☆集中できる時間と場所
→校時を変更し「共通」の話題をもとにじっくりと語り合う時間と場を設定する。



▲語ろっさ！の様子

▼子どもの学びをたどる



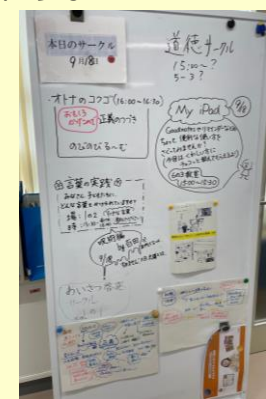
☆心理的安全性の保障と達成感や満足感
→外部のファシリテーター(校内研修コンサルテーション)による対話と学びの実感

→子どもの姿で語ることで、授業批判で終わらない

●支え合う学び

☆自主的サークル サークル掲示板
学びたいことを学ぶ・水曜日放課後
正義とは？と語り合ったり、言葉の実践について学び合ったり…

☆ふらっと参観
主体性のある研究チームでの支え合い
ふらっと見に来てね、フラットに語りましょう



～改革は続くよ、いつまでも～
Try&Learnのくりかえし(特に管理職) アップデートのために「語ろっさ！」

ふくいの教育ミライレポートをぜひお読みください！



各学校現場に、各先生のお手元に、「ミライレポート」は届いていますか？夏に開催した「ミライ会議」やアンケート調査結果を基に作成しております。お読みいただくとともに、語り合う題材としてご活用ください！
今後もバージョンアップしてお届けしていく予定です。

■編集後記■

☆考えながら読んでみてください☆
「〇〇がないからできない」と考えていた授業研究会や校内研修会。幸せを感じることができるようにと工夫して行っていくうちに■■が可能になり、学校の雰囲気が変わった！

〇〇・■■には何が入ると思いますか？

福井県 教職員 働き方



取材、伴走・支援のための訪問等のご要望は、
県教育庁教職員課学校業務改善グループまでお寄せください！